
コミュニティ・スクールだより

令和7年2月号

『地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎』 「学び合う子」
(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

コミュニティ・スクール 1年



菊川市では令和6年度から市内全中学校区でコミュニティ・スクールを導入しました。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。地域住民の学校運営への参画により、広く地域住民の意向を踏まえて学校運営を行っていくというものです。

今年度は学校運営協議会を3回行いました。菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小の5校で構成されている菊西学舎には、学校運営協議会の委員が19名いて、菊西学舎内の児童生徒の目指す姿や、その子どもたちのためにどのようなことができるか、協議して方向性を探りました。今後はその方向性をさらに実践につなげていきたいと考えています。

菊西学舎の教育目標は「地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎」です。学舎内の子どもたちの取組のよさやがんばりを地域に誇ることができ、そのことが地域からしても誇りになるというものです。

めざす子ども像は「学び合う子」です。互いに自分の思いを伝え合い、よりよい学びにつなげていけるようにしていくというものです。

本年度1回目の学校運営協議会では、教育長から委員に委嘱状が渡され、「地域・家庭における課題や教育活動への支援等」について協議しました。その中では、0才から家庭や地域の課題を考えていかなければ、自転車の乗り方・歩き方など実態をつかんでほしい、地域として何かできないか、できることはあるか考えたい等の意見が出されました。

2回目の学校運営協議会では、「教職員の支援としてどのようなことができるか」について協議しました。その中では、支援や補助のできる社会に、子育て支援とはだれのためのどのようなものか、学校ではどんな支援をしてほしいか等の意見が出されました。

3回目は学校運営協議会では、「本年度の成果と課題」について協議しました。その中では、学校のために何かしたいという人はいる、情報が入ってこない、まとまってこの地域の子をどう育てるか意思を統一したい、学校運営協議会の取組が保護者に伝わっていないのでもっと情報発信を等の意見が出されました。

本年度スタートしたばかりでどのようにしていけばよいか迷うところも多かったですが、少しずつ委員のみなさんに御理解をいただいて、菊西学舎の子どもたちをどのように育てていけばよいか、意見を出し合うことができるようになりました。学校運営協議会の理解と委員としての意識が高まってきました。今年度をまず礎にして、来年度につなげていきたいと思っています。

【学びの庭】 ひな人形 内田小



学校だよりで呼びかけると、掛川市在住の和田様、高田地区在住の鈴木様から、ひな人形の貸し出しの申し出をいただき、現在飾っています。

ひな人形を見た子どもたちは「おー！すごい！」「豪華だね。」「明るく感じるね！」の歓声が上がりました。

校舎内がぱっと明るくなり、見ているだけで心がなごみます。和田様と鈴木様は、「久しぶりに飾ってもらって、おひなさまが喜んでいる。」と感慨深そうに眺めていました。

【学びの庭】 小笠高校生との交流会 横地小

楽しかった高校生との交流会が最終回となってしまいました。横地小2年生と小笠高校生は、野菜作りや交流会を通して、1年間関りを深めてきました。

今回は、2年生が企画したボール運びゲームとばくだんゲームと、高校生が企画してくれたビンゴで、最後の思い出を作りました。



【学びの庭】 参観・懇談会 加茂小



本年度最後の参観・懇談会が行われました。

保護者のみなさまに、多数お越しいただきました。

4年生は理科で水の沸騰する様子を観察していました。

各教室でこれまで学んだ成果を発表するなど、学びの足跡を見ていただきました。

【学びの庭】 プログラミング講師を招いて 堀之内小

講師をお招きして、プログラミングの学習をしました。

今回はロボットが自動でボールをゴールするように、プログラムを組んでいきました。いろいろな動きを交えて、最後にゴールできるように、プログラムを工夫していました。



【学びの庭】 薬学講座 菊川西中

菊川警察署生活安全課スクールサポーターの中村様から、2年生が医薬品の正しい知識と喫煙の害やシンナー等の薬物乱用による害について、わかりやすくお話をいただきました。

薬物や化学物質を不正に使うと、脳細胞や身体各部に影響を及ぼし、一度使うとやめられなくなってしまう恐ろしいものであることを学ぶことができました。